

ふくしま
林業

労働力確保支援 センターだより

第19号

発行:福島県林業協会
〒960-8043
福島市中町5番18号
(福島県林業会館内)
TEL 024-521-3270
FAX 024-521-3246
平成22年2月発行

本年度の基幹林業労働者研修が終わる

今年度の研修も、7月21日～12月4日までの40日間にわたり、14名の方が郡山市の福島県林業研究センター研修本館等を利用して実施しました。研修内容は、講師の皆さんや関係機関のご指導・ご協力をいただき、従来の現地視察や実習等を行いました。

研修には、意欲的に受講され、計画どおり全てのカリキュラムを修了しました。最終日の閉講式には、「福島県林業作業士」の認定証が各人に交付さ

れました。

県内には、平成3年から平成20年度までに、すでに121の方が林業作業士に認定されており、各地域で活躍されています。

新たに認定された皆さんも、様々な機会に知識・技能を深めるためさらに研究され、将来の地域の中核的な担い手として森林・林業の活性化のため、大いに活動されますよう期待しております。



作業道の設計の研修



かかり木処理の研修



ワイヤーロープのつなぎ方の研修

平成21年度 基幹林業労働者研修生（作文） 「研修を終えて」



(有)川島林業

小原 徹哉

この度、40日間の基幹林業労働者研修に参加させて頂き関係者並びに、講師の先生方にはお世話になり感謝しています。

今回の研修で特に興味を持ち勉強になったのは、作業道測量設計です。

最初は、何をやるのか不安でした。

でも、先生方（鈴木先生）の教えが上手で、何とか分か

るようになりました。有り難うございました。出来れば後2日程やりたかったです。現在の林業も機械化が進み、良い事だと思います。

林業で働く1人として、今回の研修で学んだ事を忘れず、自分の職場で基本を守り、安全第一で積極的に取り組んで行きたいと思います。

最後に、この研修の皆さん、これからも林業で活躍し頑張ってください。



(有)田部林業

田部 博之

今回、基幹林業労働者研修を受講し、色々なことを学ばせて頂きました。特に作業道測量設計は、今まで一度も作成したことがなかったので、この研修で基本的なことが学べたことは、とても良い経験になりました。

今後、この研修で得た知識を実際の現場で活かしていきたいと考えています。

次に現在の林業に関してですが、残念なことに木材の価格は大変低迷しており、林業も不況の中にあります。また、造林業においても他県の林業会社や建設会社、また他地域

の会社の参入により地元にある会社が安い単価で入札せねばならず、従業員の収入や新規林業就労者の雇用に対する弊害となっております。国では、緑の雇用という補助事業がありますが、あくまでも補助であります。会社が利益を出せなければ新規雇用などできないのです。

ただ、現在地球温暖化に対することを世界中で考えており、もっと林業の重要性を世界が考えてくれれば林業は良くなるのではという考えをもっています。

最後に、今回担当していただいた講師の方々に厚くお礼申し上げます。



(有)ウッド福生

小松 広明

基幹林業労働者研修を通して、様々な知識、現地の見学をさせて頂いたことは大変貴重な経験となりました。

その中でも、作業道測量機器などを実際に使用することが出来たので良い経験になりました。また、近年

の林業を取り巻く環境については、木材価格の低迷に伴い、林業労働者の高齢化が目立っています。それには、プロセッサ・ハーベスタといった高性能林業機械を積極的に導入して、現場での素材生産性の向上と機械化により、若者の林業定着を目指していくのが、良いのではないかと思います。

ます。今、世界的に問題になっている地球温暖化防止のためにも、間伐を進めて森林整備をしていくことが大切だと思います。

また、この研修で出会った各方面の森林組合・林業事業者の人達との情報交換も出来たので、とても良かったです。この研修で学んだことを活かして、職場での作業効率の向上などに結びつけていきたいと思っています。「基本に正しく、安全第一」を目標に、作業を進めて行きたいと思っています。

最後に、研修を通してお世話になった講師の先生方並びに関係者の方には大変感謝しております。



吉田林業(株)

新開 正法

今年度の基幹林業労働者研修に参加することに当初、期待と不安もありましたが、講師のわかりやすい教えと今回参加した研修生に助けられ、そして支え合い何とか本日の閉講式までたどり着くことが出来ました。

本当にお世話になりました。

これからの林業においては、ますます機械化が進むことが予想され地に足をつけることなく安全に作業が出来るそんな時代がやがては来るのではないかと思います。やはり基本となるのは安全作業ではないかと思

今回学んだことを少しでも現場で活かしていきたいと思

います。

この基幹林業労働者研修をこれから先も、続けていってほしいものです。

最後に、今回の研修で出会った13人の仲間には大変お

世話になり感謝しております。今回の基幹林業労働者研修に関わった、福島県林業協会・講師の方々に御礼申し上げます。老眼鏡をつけての研修は少し辛かったです。

甚だ簡単ではありますが、研修を終えての感想にします。



西白河地方森林組合

八巻 祐介

平成21年度の基幹林業労働者研修の研修生として、7月の開講式から12月まで40日間に渡り受講させて頂きました。

県内の各方部の森林組合や林業事業体の方々と知り合うこともでき、

苦勞もありましたが、とても楽しく有意義な研修であったと思います。

その中で、特に強く印象に残ったものは、作業道の測量設計と高性能林業機械の実習でした。作業道については実際の測量もそうですが図面作成や積算など、未経験ではありましたが講師の先生方に丁寧に教えていただき、完成した時は達成感がありました。高性能林業機械の操作につい

ても実際に動かしてみても更に興味が湧きました。

今後、研修で教えていただいた事を、業務で活かせるよう努めてまいります。

現在、林業を取り巻く環境は、木材価格の低迷や作業員の高齢化など非常に厳しい状況であります。しかし、近年環境問題への意識の高まりとともに森林への期待も集まり、また国産材の利用価値も見直されていっておりますので、状況は好転していくと思われまます。地球環境を守るという大事な使命をおびた林業界で働いている事を誇りにし、努力していきたいと考えております。

最後に、今回の基幹林業労働者研修に参加した研修生の方、また林業協会の皆様方、ならびに講師の先生方本当に有り難うございました。



相馬地方森林組合

佐藤 亜夢

私は、緑の雇用第1期生として、始めて林業と言う職種に就き、3年間色々と学んだ後、今の組合に入りました。緑の雇用で働いていた時の現場の全ては国有林の山で、主に重機を使用する主伐でしたが、組合に入

ってからは民間の山のみでの間伐が主で、正直初めて組合に来たばかりの頃は同じ林業なのに全然やっている事が違うと戸惑いがありました。

この様な経歴の私なので、他の方々よりは様々な「林業」があると多少は分かっていたつもりでしたが、今回の基幹林業労働者研修を通して、自分が考えていた「林業」よりもっと色々な「林業」があるのだと気づかされました。他の同業者との関わりがほとんど無いのが林業の今ですが、今回の様な研修を受講する事によって狭かった視野も広くなり、色々な面で自分にとってプラスとなる非常に良いきっかけとなったような気がします。



いわき市森林組合

斉藤 秀彦

この度、基幹林業労働者研修に参加させていただき、林業協会の担当者ならび講師をしていただいた先生方々には大変お世話になりました。

7月下旬から始まった40日間の研修も、終わりになりました。

研修では、林業の基礎知識から最新の高性能林業機械と幅広い研修内容を行って頂き、これから仕事をしていく上で今回の研修の内容を活用していきたいと思ひます。

また、これからの林業は、地球温暖化防止を始め様々な役割を持っている森林を守っていかなければなりません。

それには適切なときに適切な作業をし、管理していくことが欠かせません。

しかし、現状は木材価格の低迷や作業員の高齢化と減少のため、十分な作業が出来なくなっています。

でも、これからの問題も高性能林業機械化・施業集約化等を活用していければ、コストの削減・作業員の確保等が改善されるのではないかと思います。

最後に、今回の研修で県内の林業に携わる方々と知り合えて良かったと思ひます。これからも情報交換など交流が続く事を期待します。



(株)ミツヤマグリーンプロジェクト

長尾 譲

無事に40日間研修をおえ、皆様にはご迷惑をおかけしたかと思ひますが、大変お世話になりました。

この研修で一番に思えることは、普段仕事をしている中では、出会うことが出来ない人たちに出会い、林

業と一緒に学び色々なことを教えて頂き感謝しています。人との繋がりがかなり広がったと思ひます。

研修の中で一番に勉強になったのは、林地の測量と林分調査です。土木関係に従事していたことがあるので、測量の知識はありましたが、林地測量や林分調査は初めてだったので勉強になりました。これからの作業に役立ててもつ

と林業を上達して行きたいと思います。

これからの林業ですが、素材価格の低迷が長引いており、先が見えないのが不安です。緑の雇用などで以前の林業から比較すると、若い人が増えてきて林業自体が明るくなってきたのに、先を不安に思い林業から離れてしまうのではないかと思います。

山も主伐を行わないのが主流で、長伐期を目指した林業が多く日本の林齢が偏ってしまうような気がします。



郡山市森林組合

今回、基幹林業労働者研修の40日間を通して、林業という職業の奥深さを改めて感じました。植林の苗木の事から保育・伐採・製品の加工等、一連の流れを研修では学びました。

私は、実際に機械を使用して山で仕事をする事はほとんど無く、今まで運転操作をした事が無かった高性能林業機械の研修はとても印象深く、これからの林業の発展には高性能林業機械は欠かせないと思いました。自然を相手にする仕事のため全く同じ条件の現場が無いので、その現場ごとにいかに安全で効率の良い方法で作業するか、例えば作業道の入れ方次第でも作業効率は全く違うとの事でしたので、研修で学んだことをこれからの仕事の中で活かし頑張っていきたいと思っています。

現在の森林は、手入れが不完全な高齢級の森林が多くみ

ただ、これからの日本は、二酸化炭素25%削減と言う大きな目標があり、これを達成するには森林整備を行うしかないと思うので、何らかの形で林業は変わって行くと思います。基幹林業労働者研修を活かし少しでも林業を明るくして、頑張っていこうと思います。

色々教えてくださった講師の先生ならびに研修生の皆様有り難うございました。

伊藤 篤史

られます。また、国土調査の実施されていない地域は、森林所有者自身が自己所有林の境界が分からなくなっている人も多く、この問題は世代交代が進むにつれて多くなってくると思われまます。原因として、木材価格の低迷により山の魅力が少なくなり、関心を持たなくなってしまった為だと思います。

これからは研修で学んだ事を活かし、施業の集約化や高性能林業機械の活用など効率の良い施業方法を提供し、コストを押さえて多少でも森林所有者に還元出来るような体制を整えたいと思います。よって、森林所有者の山の関心を取り戻し、境界がわからないというのが無くなる様に努力していきたいと思っています。

最後に、今回の研修の講師の方々や林業協会の方々、その他研修に携わった方々のおかげで素晴らしい知識を学べた事に感謝しております。誠に有り難うございました。



安田林業(株)

7月から12月までの40日間、研修を支えていただきました。スタッフ、講師の皆さん有り難うございました。

役に立ったことは、全部役に立ったと思いますし、視点の位置を現場にて、ずらして見るようにしています。ムダな講義はないと思います。テキストはかならずこれからの参考書とし応用したいと思います。ただ不満もあります。それは、講師によりこちらの理解度が変わってしまう点です。現場を知らない人がパワーポイントを見て話しをする。そのような講義はこちらにも伝わってこず、何を言っているのかわからないと思う。質問は無いかと聞かれてもテキストをただ読むだけという講義では、質問が出来ませんでした。来年以降のためにも、今回の講義の内容などを14名からヒヤ

齋藤 晃一

リングして、参考にしたい方が多いと思います。せっかく40日間も使っているのですから宜しくお願いいたします。

現在の会社では機械化が大変進んでいまして、ハーベスタ・プロセッサ・グラブプル・フォワーダ等環境には恵まれています。今回の講義でも、高性能機械の話が出てきましたがパソコンで言うバードは、高性能でもそれにインストールするソフトにあたる部分、そして「それを動かす人」これについても、もっと研究した方がよいのではないのでしょうか。

「機械化のため」の「機械化」にならないためにも現場と、経営を考えた方針を打ち出してほしいと思います。デフレの中、木材価格は決して上がってはいかないと思います。その状態で何が最適な判断なのか、ここにもバードが大事ですが、ソフトの面での成長も必要かと思っています。抽象的な話になりましたが、これで終わりにしたいと思います。



双葉地方森林組合

今回、基幹林業労働者研修を受講させていただき県内の各森林組合や林業事業者の人達と出会い学んだ事がたくさんありました。

私がかつての事から知らない事まで、さまざまな問題を約40日間で学び、中でも高性能林業機械を体験できたことはこれからの自分の仕事に役立つ事だと思います。

遠藤 正春

今、林業を取り巻く環境においては、作業員の高齢化や素材価格の低迷などさまざまな問題がありますが、素材生産性をあげ経営収支の黒字、それに伴い作業員の安定収入が出来れば新規就労者が増えるのかも知れません。

今回、研修で学んだ事を職場で生かして今後も頑張っていきたいと思っています。

最後に基幹林業労働者研修の関係者の方々には、大変お世話になり有難うございました。



有松崎産業

加藤 慶福

7月の開講式から12月まで約6ヶ月間、40日研修を受けてきました。研修の中で今すぐに使える講義があり、また測量設計はもっと長い時間行わないとわかりませんが、経験出来てよかったです。

いわき市で高性能林業機械のザウルスロボで四万十式の木の根を使って道づくりをはじめ、郡山市中田町でのスイングヤードを使って材木の伐採や、自分で機械に乗って体験をさせてもらい色々勉強になりました。また、会津で

集材機を使っでの集材の見学がとても参考になりました。木材の価格が低いので上がることを期待しています。研修で学んだことを活かし、高性能林業機械を使って低コストで重労働をせず、しかも安全に会社の従業員と一緒にやって行きたいと思っております。

関係者ならびに講師の先生方には、お世話になりました。また、同期の人、森林組合の方々、研修生14名の中で林業関係のことを学び、色々お世話になり誠に有難うございました。研修に参加できたことを感謝いたします。



ふくしま中央森林組合

瀬谷 美斗

平成21年度の基幹林業労働者研修が終わりを迎えました。私が受講者に選ばれ、全40日間の研修日程を見て思ったのが、7月から12月までの長丁場になり、多いときには一週間全てが研修の時もあり、通常の仕事を

をこなしながら、研修にも出席しなければならないということで、負担が大きくなり迷惑をかけてしまうところが出てしまうのではないかと心配でした。しかし、研修人数が福島県内から全14名ということで、この中の1人に選ばれたのだという自覚を持ち、なんとしても研修を受けきろうと思い、臨みました。内容は、私が林業に従事して10年を経過していますが、まだ知らなかった分野や、高性能林業機械の研修があり、非常に幅広く実技などもあり、自分のこれから有効な研修になるなと思いました。

毎回、研修の中で一番思い出に残っていることは、作業道の設計の研修です。これは、一番多く日数をとっており測量から製図・数量計算・積算と非常に難しい内容でした。しかし、今の林業は作業道が必要とされ研修にもありまし

たが、施業集約化をして作業道を入れることがかなり重要視されてくると思います。作業道ができれば、高性能林業機械が入るようになり作業の効率が上がり、重労働も軽減されるようになると思います。私も実技で、プロセッサとスイングヤードを操作しましたが、見た目では操作が難しいかと思いましたが、意外に単純で、慣れるのも早いかなと思いました。その他では玉掛け・小型移動式クレーン・小型車両系建設機械の技能講習もあり、なかなか個人的には受講は困難でも研修を通じて取得することでき、これからも活かしていきたいと思えます。

最後になりますが、県内各地から集まった全14人で40日間。最初はどこか堅い雰囲気でしたが、だんだんと打解け合うことができ、仕事での悩みなども相談できる仲間となりました。これも、同じ林業に携わっているという思いと、現在の林業の厳しい状況を把握している集まりだったからだと思えます。

私はこの研修を活かし、林業業界で活躍できることで恩返ししたいと思います。本当に、長い期間でしたが有難うございました。



飯舘営林(有)

菅野 幸蔵

始め社長から「基幹林業の研修を受けてみないか」と言われた時、心の中では山仕事するのに今更勉強なんて必要ないし嫌だ、途中で辞めてもいいやと思いながら申し込みをしました。

7月の開講式に出席しまして始めて顔を合わせで、私を含めて14名の研修生みんなと挨拶を交わし、林業協会の人に今後の研修内容や決め事を聞きながら研修が始まりました。休憩時間や昼休みに研修仲間と世間話しをしながら林業の考えや、今回なぜ参加したのか等を色々話しました。後から名簿を貰ってわからなかったのですが、私が1番の最年長でみんな年下なのに林業に関して、しっかりした考えで参加しているのには驚きと同時に、ここに居る自分が恥ずかしく思い負けてはいられない、頑張っって研修続けてみようと思いました。

研修が進むにつれて専門用語・専門知識と、間伐一つに

取っても色々なやり方又安全についても危険は色々な所に潜んでいるのだと改めて再発見をしました。

特に印象に残った事は、3日間の高性能林業機械の研修でした。

1人ずつ機械に乗って操作を教えてもらい、恐る恐る操作して行くうちに少し慣れて来ると、指一つで集材は出来るとボタン一つで枝払いからどんな長さにも切ってくれるし、これからの林業のあり方を考えた時に林業の明日が見えて来た気がします。

今後、現場に帰って今日まで学んだ事をどの位活かせるかわかりませんが、少しでも「研修させて良かったな」と言われるように安全に注意し、効率良い作業を考えながら、仕事をして行きたいと思えます。

最後に今回貴重な経験をさせて頂いた、林業協会の関係者、講師の方々、快く送り出してくれた会社の皆さん、研修仲間みんな、有り難うございました。

林業雇用管理セミナーを開催

地域林業雇用改善促進事業の一環で、事業主や労務担当者等を対象として平成21年度雇用管理セミナーを下記により開催しました。

- 日 時／平成21年11月12日（木）
13時30分～15時30分
- 場 所／ビッグパレットふくしま
郡山市安積町日出山字北千保19-8
TEL 024-947-8010
- 演題講師
 - ①「奥久慈・八溝流域における間伐強度の比較による効率的な利用間伐について」
東白川郡森林組合参事 森 元 良 氏
 - ②「奥久慈・八溝流域における高性能林業機械による上層間伐の実施について」
西白河地方森林組合事業課長 水野谷 和 聖 氏

本年度の林業雇用管理セミナーは、東白川郡森林組合参事の森元良氏と西白河地方森林組合事業課長の水野谷和聖氏を講師にお招きして11月12日（木）にビッグパレットで開催しました。

県内の森林組合及び認定事業体の事業主等林業関係者39名の参加がありました。

講演の内容は、森氏に「奥久慈・八溝流域における間伐強度の比較による効率的な利用間伐について」、水野谷氏に「奥久慈・八溝流域における高性能林業機械による上層間伐の実施について」をテーマに長時間にわたり講演をいただきました。

この講演を契機に、各事業体が雇用の安定を目指して明るく楽しい職場になるように願っております。



主催者あいさつ 渡辺専務



森元良氏の講演



水野谷和聖氏の講演



聴講する林業事業体の皆さん

平成22年度林業事業体現場作業職員の採用計画

県内の認定事業体に平成22年度の採用計画をお聞きしました。その内容は次のとおりですが、具体的な労働条件等については当支援センターへお問い合わせください。

福島県林業労働力確保支援センター

TEL 024-521-3270 FAX 024-521-3246

担当者 小松、増子

(平成22年2月現在)

求人事業体名	所在地	採用人数(人)	年齢	雇用形態	職種			
					造林	保育	素材生産	オペレーター
(株) 館 岩 工 務 所	南会津郡南会津町松戸原223	1	不問	常用	●	●	●	●
ふくしま中央森林組合	田村郡小野町大字小野新町字知宗59-2	2	不問	常用		●		
		1	不問	臨時			●	
(有) ウッド福生	東白川郡塙町大字片貝字兎田44	2	不問	常用	●			●
(有) ハヤマ森林	相馬郡飯館村八木沢字上八木沢110	1	不問	常用			●	
相馬地方森林組合	南相馬市原町区錦町1-34	2	不問	常用		●		
(有) 阿部林業	いわき市好間町大和字井田木72-1	2	不問	常用			●	
吾妻造林(有)	福島市町庭坂字湯町17	2	不問	常用	●	●	●	●
(有) 鈴木商事	石川郡古殿町大字松川字小名沢1	1	不問	常用	●	●	●	
		13	不問	臨時	●	●	●	
(有) 諸橋林業	東白川郡鮫川村大字赤坂東野字戸草23-2	3	不問	臨時	●			
耶麻西部森林組合	喜多方市山都町字谷地281-1	2	不問	常用	●	●		
伊南村森林組合	南会津郡南会津町小塩字上ミ原80	1	不問	臨時		●		
磐城造林(株)	いわき市勿来町関田宮前36	2	不問	常用		●	●	
飯館営林(有)	相馬郡飯館村飯桶字所久保10	2	不問	常用	●	●		●
西会津町森林組合	耶麻郡西会津町尾野本字樋ノ口乙1460	4	不問	常用		●		
館岩村森林組合	南会津郡南会津町松戸原51	3	不問	臨時		●		
常磐林業(株)	いわき市岩間町川田55	2	不問	常用	●			
(有) 平子商店	いわき市遠野町入遠野字白鳥132	1	不問	常用	●	●	●	●
(有) 熱海グリーン産業	郡山市熱海町安子島字竹ノ内144	2	不問	常用	●			
(有) 大須賀林業	岩瀬郡天栄村大字牧の内字惣五郎内4	1	不問	常用	●	●	●	
(有) 志賀林業	双葉郡川内村大字下川内字道の下30	1	不問	常用	●			
(有) 田部林業	東白川郡矢祭町大字茗荷字入山37-2	1	不問	常用	●	●	●	●
福島県北森林組合	福島市岡部字前田137	2	不問	常用			●	
(株) ノーリン	喜多方市慶徳町山科字宮前4780-7	1	不問	常用			●	
会津若松地方森林組合	会津若松市城前2-3	2	不問	常用	●			
巖ツツマグリーンプロジェクト	白河市大信下新城字北山61-1	1	不問	常用			●	
山星林業(株)石川事業所	石川郡石川町高田77-1	3	不問	常用			●	●
田村森林組合	田村市常葉町西向字堂ヶ入62-7	6	不問	常用		●		
小椋建設林業(株)	耶麻郡猪苗代町大字若宮字村東丙701-1	1	不問	臨時	●			
千葉製作所	南相馬市原町区牛来字穴田42-1	2	不問	常用			●	
郡山市森林組合	郡山市逢瀬町多田野字本郷228	2	不問	常用		●		
(有) 関根農林	石川郡平田村大字西山字川向1	3	不問	常用			●	●

職種 ●造林：地ごしらえ・植付け ●保育：下刈り・枝打ち・つる切り・除伐 ●素材生産：主伐・間伐 ●オペレーター：林業機械運転者

「森林の仕事ガイダンス」開催される

平成21年度森林の仕事のガイダンスは、全国森林組合連合会主催で全国4ヶ所で開催され、当支援センターは、平成21年11月20日（金）～21日（土）有楽町「東京国際フォーラム」と平成22年2月5日（金）～6日（土）秋葉原「アキバ・スクエア」の2会場で相談会に参加しました。

会場では、都道府県ごとのブースが設置され、支援センター・森林組合連合会の職員が相談員となり林業就業希望者に対して、当県の林業就業状況内容や雇用の流れ等について説明をいたしました。

当県の相談件数 東京国際フォーラム21名、アキバ・スクエア25名です。



林業事業主と葛城奈海さんのトークショー



森林の担い手トークショー



間伐材製品
展示コーナー



緑の研修生相談ブース



福島県相談ブース